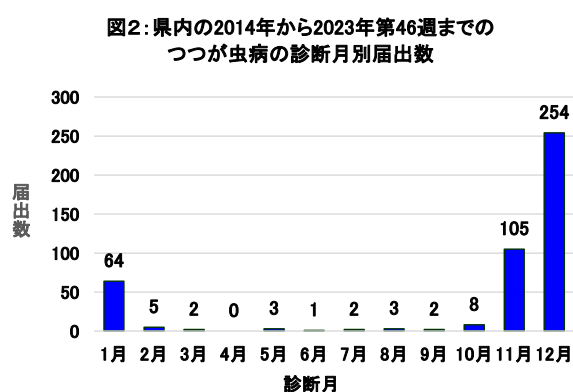
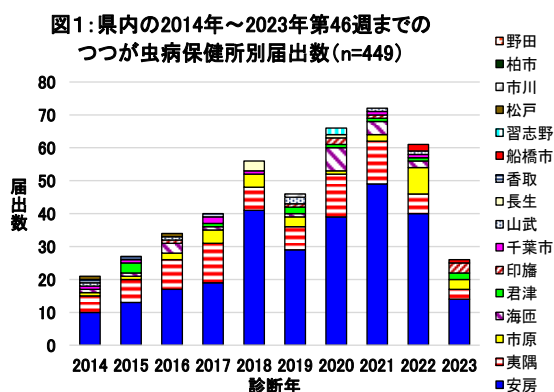


【今週の注目疾患】

《つつが虫病》

2023年第46週に県内医療機関からつつが虫病の届出が5例あり、2023年の累計届出数は26例となった。年齢群別では70代が11例(42%)で最も多く、次いで60代が6例(23%)、80代が4例(15%)であり、60代以上で2023年の届出全体の8割を占めていた。

つつが虫病の届出数は近年増加傾向にあり、県南部からの届出が多い(図1)。また、例年11月頃から届出数が増加する傾向にある(図2)。



つつが虫病は、病原体 *Orientia tsutsugamushi* を保有するツツガムシ(ダニ類の一種)がヒトを刺咬・吸着して感染する。つつが虫病の潜伏期間は5～14日で、典型的な症例では高熱を伴って発症し、皮膚には特徴的なツツガムシの刺し口(黒色痂痂)がみられ、その後数日で体幹部を中心に発疹がみられるようになる。また、患者の多くは倦怠感、頭痛を訴え、患者の半数には刺し口近傍の所属リンパ節、あるいは全身のリンパ節の腫脹がみられる。つつが虫病は有効な抗菌薬(第一選択薬はテトラサイクリン系)があるが、死亡例も報告されているため、適切な診断・治療が重要である¹⁾。

つつが虫病を予防するワクチンはないため、ダニの刺咬を防ぐことが極めて重要となる。農作業や山林作業、レジャーなどで山林や草むらなどに立ち入る場合には、(1)長袖長ズボンなど肌の露出が少ない服装にする、(2)忌避剤(防虫スプレー)を使用する、(3)地面に直接座らずに敷物を使用する、(4)帰宅をしたらすぐに着替え、洗濯する、(5)帰宅後はすぐに入浴し、体にダニが付いていないか確認する、などの対策をとる。また、刺咬された場合には、無理に引き抜くとダニの一部が皮膚に残ってしまうことがあるので、医療機関を受診して除去してもらうことが推奨される²⁻⁴⁾。

■参考・引用

1) IDWR 注目すべき感染症 ダニ媒介感染症 つつが虫病・日本紅斑熱

<https://www.niid.go.jp/niid/ja/tsutsugamushi-m/tsutsugamushi-idwrc/10682-idwrc-2136t.html>

2) 千葉県衛生研究所：つつが虫病に注意!

<https://www.pref.chiba.lg.jp/eiken/eiseikenkyuu/virus/documents/tsutsugamushi.pdf>

3) 千葉県衛生研究所：マダニ被害に遭わないために!

<https://www.pref.chiba.lg.jp/eiken/eiseikenkyuu/virus/documents/madanihigai.pdf>

4) 千葉県健康福祉部疾病対策課：ダニ媒介感染症について

<https://www.pref.chiba.lg.jp/shippei/kansenshou/tick.html>

《後天性免疫不全症候群》

12月1日は世界エイズデーである。後天性免疫不全症候群（AIDS、エイズ）のまん延防止及び患者・感染者に対する差別・偏見の解消を目的として1988年にWHO（世界保健機関）が12月1日を世界エイズデーと制定し、AIDSに関する正しい知識の普及啓発を推進している¹⁾。

2023年第1週から第46週までの県内の後天性免疫不全症候群の累計届出数は32例（男性30例、女性2例）であった。累計届出数は2019年から減少傾向であったが、2023年は既に2022年の届出数（26件）を超え、増加に転じている。年代別では、20代が9例（28%）、30代が8例（25%）、40代が7例（22%）、50代が6例（19%）であり、20～50代で全体の9割以上を占めており、この傾向は変化していない（図1）。

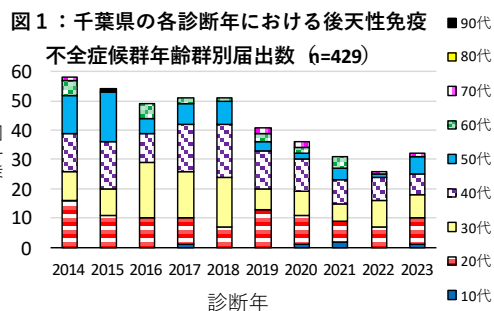
後天性免疫不全症候群はヒト免疫不全ウイルス（human immunodeficiency virus；HIV）に感染することで免疫不全が生じ、健常者では通常見られないさまざまな日和見感染症や悪性腫瘍を引き起こす状態をいう。HIV感染の自然経過は感染初期

（急性期）、無症候期、AIDS発症期の3期に分けられ、時間が経過するとともに免疫システムの破壊が進行するため、早期診断、治療がとて重要となる²⁾。

県では、毎年「千葉県ストップエイズウィーク」として、12月1日を中心にキャンペーンや即日検査などを実施している³⁾。また、通年で保健所等において無料・匿名のHIV検査を実施している。居住地に関係なく、どの保健所でも受検することができるので、希望する方は活用されたい。なお、本年度の実施日程等の詳細は県ホームページをご確認いただきたい⁴⁾。

■参考・引用

- 1) 厚生労働省：12月1日は「世界エイズデー」
<https://www.mhlw.go.jp/bunya/kenkou/eizu/index.html>
- 2) 国立感染症研究所：AIDS（後天性免疫不全症候群）とは
<https://www.niid.go.jp/niid/ja/kansennohanashi/400-aids-intro.html>
- 3) 千葉県健康福祉部疾病対策課：千葉県ストップエイズウィーク 2023
<https://www.pref.chiba.lg.jp/shippei/kansenshou/stopaids.html>
- 4) 千葉県健康福祉部疾病対策課：千葉県内のエイズ等相談・検査：千葉県
<https://www.pref.chiba.lg.jp/shippei/kansenshou/aids/soudan.html#a01>



【新型コロナウイルス感染症（COVID-19）の発生状況】

2023年第46週の県全体の定点当たり報告数は、前週の1.60人から増加し、1.76人であった。地域別では、夷隅(3.40)、印旛(2.71)、君津(2.69)保健所管内で患者報告数が多かった（図）。

図：直近5週間の県内 COVID-19 定点当たり報告数の推移(保健所別)

